

# 今後の看護師確保に向けた施策等について(案)

## 資料 3

(単位・人)

実員数(H22)	H37年までの増加見込み数	H37年 実員予測数	H37年 需要数		H37年 不足数	
47,127	16,963	64,090	低位	68,620	△	4,530
			中位	78,160	△	14,070
			高位	79,110	△	15,020

区分	現在の主な事業内容	指標(現状)	指標(目標値)(案)	今後求められる施策の方向(案)
1. 看護職員の養成数の増加	1-①看護師等養成所運営費・整備費助成	27養成所 1学年定員 1,643人(H26年度) 卒業生の県内就業率 70.5% 県内就業者数 1,077人 (H24年度) (H26年度) 運営費助成15校 18課程	(H32年度までに) ・県内就業率の向上 80.0% (県内就業者数238人増) ・定員の増 +100人(県内就業者数 90人増) (県内就業者数 計328人増)	看護学校の新設、定員増の促進 県内就業率の実績に応じた補助金の傾斜配分 看護師志望者(中高生)への働きかけ 看護師志望者を増やすための方策 社会人枠の設定
	1-②看護大学新設等に係る施設・設備整備費助成	11大学 1学年定員 1,085人(H26年度) 卒業生の県内就業率 38.7% 県内就業者数 207人 (H24年度) (H24年度~H25年度) 4大学整備 1学年定員 340人増	(H32年度までに) ・県内就業率の向上 60.0% (県内就業者444人増) ・定員の増 +360人(県内就業者数 216人増) (県内就業者数 計660人増)	大学の設置、誘致の促進 県内就業率向上の方策(県内高校出身者の推薦枠の設定、カリキュラムの検討、特待生制度の創設) 社会人枠の設定
	1-③外国人看護師導入に係る調査研究事業	(H25年度~H27年度) 外国人看護師の招聘計画、教育プログラムの作成と実践 (現状) 千葉大学と中国医科大学で締結した大学間交流協定に基づき、中国人看護師2名が千葉大学で日本の看護を6ヶ月間学習 帰国後は、中国医科大学の日本語学科(設置検討中)で教官として、後進を指導	外国人看護師県内就業数の増	中国人看護師が県内病院に就業するしくみの構築(国家試験合格への支援、受け入れ希望病院とのマッチングなど)
2. 看護職員の県内就業の推進	2-①修学資金の貸付け	H26年度 新規貸付枠330人(県内300人、県外30人) 貸付者(H26年3月卒業)の県内就業率 88.4% 貸付者の1年以内離職率((H26年3月卒業) 0.5% (県平均 7.6%)	貸付者の県内就業率 90.0%以上	貸付学生への働きかけ(在学期間中) 貸付枠の拡大 義務年数の延長
	2-②看護学生実習病院確保事業	H26年度 受け入れ増23病院 延べ586人増(見込み) (H25年度実績 受け入れ増24病院 延べ549人増)	受け入れ病院数と人数の増	実習先病院に就業する率(割合)の向上に向けた取組 県外養成所等からの受入れ拡大

区分	現在の主な事業内容	指標(現状)	指標(目標値)(案)	今後求められる施策の方向(案)
3. 離職の防止	3-①院内保育所設置・運営補助事業	H26年度 運営費助成91施設、施設整備助成 3施設予定 (H21年度～H25年度施設整備実績) 5施設 H24離職率 12.4%(全国平均 11.0%)	離職率を全国並みの 11.0%まで減少 →離職者 620人減少	子育て支援の充実 多様な勤務形態の導入促進 病院管理者への働きかけ、研修会開催 アドバイザーによる病院巡回支援
	3-②新人看護職員研修事業	H25年度実績 受講者数 1,524人 68施設で実施 H24年新卒看護職員離職率 7.6%(全国平均 7.9%)	離職率を 5.0%まで減少 →新卒離職者 30人減少	
	3-③看護師宿舎施設整備事業	(H26年度実施予定) 施設 3施設 (H21年度～H25年度実績) 4施設	施設整備数の増	
	3-④看護師勤務環境改善施設整備費助成	(H26年度実施予定) 1施設 (H21年度～H25年度実績) 1施設	施設整備数の増	
	3-⑤看護職員の就労環境改善事業	(H25年度) ワーク・ライフ・バランス推進事業取り組み施設数 15施設 取り組み支援 (H25年度) 総合窓口 相談数 148件 アドバイザー派遣 10施設 25回 研修会開催 18回 671 名受講	ワーク・ライフ・バランス推進事業取り組み施設数の増	
	3-⑥研修事業の実施	(H25年度) 7コース 783名受講	受講者数の増	看護職員のキャリアパスの支援 研修体制・内容の充実
4. 潜在看護職員の再就業促進	4-①ナースセンター事業(再就業支援)	(H25年度) 潜在看護師 約25,000人(推計値) 再就業者数(ナースセンター把握数) 129人	再就業者の増加 潜在看護職員の捕捉	ナースセンター機能の強化 サテライトの充実、ハローワークとの連携 再就業研修の充実 登録制度の周知